

○「解散総会に向け詳細を打合せ」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第6回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年3月11日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出 席 者: 委員5人、委員以外3人
- 報 告 者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 「普賢寺地域の農を考える会」の解散総会を3月27日に開催することを決めた。
- 現会長から解散の経過を説明してもらい、解散を宣言する。
- 設立趣意書を作成し、新しい会の概要を説明する。
- 区長と農家組合長に、新しい会に地域の代表を選出するよう依頼する。
- 新しい会の初会合は4月の下旬に開催することを決めた。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援